

R 5年度を振り返って

会長 房安 薫

私がまちづくり協議会(以後まち協)の会長を受けて、4年が過ぎようとしています。初めの2年間は、コロナ感染予防対策のため、ほとんどの行事ができない状況でしたが、一昨年からは少しずつ行事復活もできるようになりました。すべてではありませんが、地区のにぎわいを取り戻した令和5年度でした。私もそろそろ引き際かなと思っていました。夏頃から少々状況が変わってきてしまいました。以前から言われていた青谷町内からのバス運行の撤退、これについては、生活交通協議会で検討していましたので、今後は市有償バスによる代替交通となります。2月中に試験運行も行なわれ、4月1日よりスタートとなります。今後も利用状況をみながら検討を加えると思いますが、市有償バスもいつまでも、この事ではなく、地区としての共助交通の検討を進めていく必要があります。

もう一点、今までのまち協・公民館に対して別々に交付されていた補助金を一括して支払う一括交付金の取組みについてです。組織の一体化であったり、地域の実情にあった取組がしやすくなるなら、一括交付金についても考えていきたいと思えます。

以上のようなことで地区の皆様には多少無理をおかけする事もあると思えますが、ご助力とご協力を今後もよろしくお願いいたします。

緑の募金事業

緑の募金の花が咲き始めました

昨年秋、緑の募金事業交付金で購入した球根が、この春、公民館の周辺で花を咲かせます。

各集落の区長さんに相談し、了承のもとに交付金で購入したチューリップ、ムスカリ、ヒヤシンスの球根を公民館前のプランター、古紙回収ボックス敷地内のプランター、体育館前の花壇に、10月30日、老人クラブの公民館周辺清掃の折、植栽していただきました。一冬越してこの春元気に咲き揃います。

公民館に花を見においでください。



チューリップ



ヒヤシンス



ムスカリ

今後の予定

3月29日(金)19:30~ 福祉部会
4月 3日(水)19:00~ 防災部会
4月 3日(水)19:30~ 特産品部会

4月18日(木)19:00~
公民館運営委員会・
まちづくり協議会総会

一部の方に、4月11日(木)開催予定とお知らせしておりましたが、諸事情により変更させていただきました。



防災部会

防災部会長 長谷川具章

令和6年1月1日午後4時10分、石川県能登地方を震源とするM7.6最大震度7を観測する能登半島地震が発生しました。現在、この甚大な被害からの復旧活動の支援が拡大しているところです。国の地震調査委員会が公表している全国の活断層の30年以内の地震発生確率ランクでは、能登半島の活断層は評価の一覧にはなく、一般的に地震発生確率は低いと考えられていました。しかしながら、地震調査委員会も、「日本は世界的に見ると地震活動が活発で、ランク分けに関わらず、どの場所においても強い揺れに見舞われるおそれがある」と、対策を講じる必要性を訴えています。

鳥取県では、昭和18年9月10日に鹿野吉岡断層を震源とするM7.2の鳥取地震が発生し、80年が経過しました。「災害は忘れた頃にやってくる」という警句は、起きてしまった災害は忘れることなく日々の備えをしようという意味です。

全国的に豪雨、連続猛暑日、豪雪、地震など災害が頻発化している状況下であり、日置地区でも大きな災害が何時でも起こり得る状況となってきています。防災部会としては、各集落の自主防災会の連携の強化と、防災の訓練・講習の実施など、いざという時の備えに取り組んでいきたいと思えます。地域の皆様のご理解とご協力をお願いします。

日置地区にも誕生しました。

これまで空欄だった日置地区の防災リーダーと防災指導員が、今年度防災リーダー研修を経て、下記の方々が登録されました。

防災リーダー 房安 太さん(河原)
房安正彦さん(河原)
足利賢次さん(山根)
防災指導員 房安 太さん(河原)

防災部会が、日置地区自主防災会連絡協議会として「鳥取市自主防災会連合会地区防災訓練助成事業」の交付金を受けて購入した物品。まち協会計からも購入代金の不足分を補填しました。



ポータブルワイヤレスアンプ・タイピン型ワイヤレスマイク

令和5年度に購入したまち協物品



天板折り畳み式強靱作業台3台
:ひおき市の商品陳列台として使用



ボッチャ用具一式:各ボッチャ大会で使用



パークベンチ:ウォーキングコース河原地内に設置

特産品部会



特産品部会長 塩 とみ子

この一年地域の皆様にはたいへんお世話になりました。

特産品部会としてこんにやく芋づくり、ひおき市の開催、みそづくりに取り組みました。

まず、こんにやく芋づくりは、異常なまでの高温、毎日降り続く雨に悩まされました。特に秋の長雨に茎が消えてしまい、果たして土の中で芋が無事でいてくれるのかとても心配しました。試し掘りをしましたら無事でいてくれたので、地域の皆さん城北の皆さんと一緒に芋を収穫しました。地域で個人の畑で作って下さった皆さんの芋も意外とたくさんの収穫がありホッとしました。納涼祭・収穫祭等では皆さんが日置産のこんにやくを楽しみにしてくださって沢山注文を頂きました。

今後も皆さんの協力を得ながらこんにやく芋づくりを続けていきたいと思えます。折に触れ美味しい日置産のこんにやく(安心安全な)を食べてください。

ひおき市を開催しました折には時間前から並んでくださって、日置の野菜・果物等をお買い上げいただきありがとうございました。新鮮で安い野菜果物はアツと言う間に売り切れです。今後は、地域の皆さん手作りの野菜を出品して下さい。「たくさんできたでしょうか？ひおき市にだしてみようか？」お待ちしております。

年明けにはみそづくりを。こちらも人気です。「この味噌でないといけんだが、これが美味しいって言うだけ」このような声が聞こえてきます。

今後も特産品部会の活動に、ご参加ご協力をお願いいたします。

福祉部会

春を感じてウォーキング

福祉部会長 中宇地節雄

3月17日に健康づくりウォーキングを実施し、50人近くの参加がありました。今回は、チャレンジコース(4.4km)とらくらくコース(2.7km)の2グループに分かれて、日置川沿いのウォーキングコースを山根・早牛方面へ歩き、やわらかな風や鳥のさえずり、野の花などに春を感じながら、心地よい汗を流しました。

7月22日に合同ラジオ体操、10月15日には健康づくり講座を開催し、認知症の人への接し方などについて学びました。

住み慣れたこの日置地区で、いつまでも元気に暮らし続けていただくため、福祉部会は今後も健康寿命を延ばすことを目指して取り組みをすすめます。



環境部会

環境部会長 塩 俊英

平素から環境部会の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。今年度も、多くの皆様のご参加のもと旧日置小学校周辺環境整備をはじめ日置川清掃、資源回収ボックスの管理等に取り組みました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げますとともに、引き続き地区の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

小畑



3/10 日置川清掃
総勢81名が参加！

山根



河原



回収されたごみの集積

早牛



3月10日は、青谷町自治連合会主催で日置川・勝部川の河川美化ボランティア活動が青谷町内一斉に行われました。各地区の参加人数の記録を見ると、青谷地区25人、日置地区81人、日置谷地区49人、勝部地区45人、中郷地区11人とあります。日置地区のボランティア精神、素晴らしいですね！



R5資源回収ボックスの記録

(令和6年3月22日現在)

◆古紙回収(R2. 12月に開始)

- ①収益金: 12, 142円⇒R5まち協会計に入金
- ②鳥取市再資源化等推進事業奨励金: 157, 812円⇒青谷小中学校PTAに寄付

◆アルミ缶回収(R4. 10月に開始)

- ①収益金: 9, 786円⇒R5まち協会計に入金
- ②鳥取市再資源化等推進事業奨励金: 660円⇒R5まち協会計に入金